

主要施策



## 農水産業の振興

### 現 状

いちごの「あまおう」や柑橘などの果樹、花卉類など多種多様な農産物が生産され、近年の健康志向や地産地消の意識の高まりなどにより、農産物直販所「ひとまるの里」は賑わいを見せています。反面、農業後継者の減少、耕作放棄地及び鳥獣被害の増加などが課題となっています。

水産業においても、若手漁業者によるいけま売りや水産加工品の新商品開発など、水産業の活性化に向けた取組を行っていますが、漁業就業者数の減少や高齢化、漁業経営の安定化が課題となっています。

### 方 向 性

農業の振興については、都市型農業に対応した省力化・高収益化を目標とする農業の推進や地産地消を推進し、関係機関と協力しながら新たな特産品の研究を行うとともに、認定農業者などの担い手の確保と育成支援の検討、新規就農希望者への情報提供を行います。

また鳥獣被害を防止するため、被害防止施設設置への補助や、猟友会と連携した駆除活動を実施します。

水産業においては、国や県の補助を活用して地元漁業に即した生産基盤の整備を検討し、実施するとともに、高付加価値化の取組として新商品開発や販路拡大の支援を検討します。

### 具 体 施 策

#### (1) 農業の振興

- ① 稼げる農業を実現するため、スマート農業や6次産業化など、生産性の向上につながる取組を研究し、支援します。
- ② 認定農業者など、意欲ある担い手の育成を支援するとともに、地域との調和を図りながら、担い手への農地集積や法人などへの貸し付けなどを推進します。
- ③ 営農環境の継続や荒廃農地の有効利用を進めるため、粕屋農協や農家、新宮町おもてなし協会などと連携し、新たな組織や仕組みづくりを検討します。
- ④ 農産物直販所「ひとまるの里」での販売促進を図り、地元農水産物の消費拡大を図ります。
- ⑤ 地元産の農作物などを、学校給食での活用を促進するなど、地産地消を推進します。

## (2) 水産業の振興

- ① 水産海洋技術センターなどと連携し、ICTの活用による漁獲高向上に向けた取組を支援します。
- ② 良好な漁場を形成するため、ガンガゼの駆除や、藻場の保全活動などの実施を支援します。
- ③ 水産物の販売促進に向け、新宮漁港及びその周辺地に、水産資源を活用した交流拠点の整備を検討します。

## (3) 高付加価値農水産物の開発と販売促進

- ① 新宮相島漁協や新宮町おもてなし協会などと連携し、新商品の開発や販売ルートの拡充を推進します。
- ② 粕屋農協などと連携し、果樹やオリーブなど付加価値の高い商品や、新宮町固有の特産品の開発を推進します。

## (4) 担い手の育成支援

- ① 農業従事者の高齢化対策や後継者不足の解消のため、認定農業者をはじめとした、新たな担い手の育成支援を図ります。
- ② 意欲ある農業者に農地の集約を図ることができるよう、農地中間管理機構などを活用した新規就農や規模拡大を支援します。
- ③ 漁業従事者の高齢化対策や後継者不足の解消のため、新たな担い手の獲得や定着に向けて、漁業後継者や新規就業者への支援の充実を検討します。

## 主要施策の指標

指標名	R 6 実績値	R 12 目標値
認定農業者数	20 人	22 人
体験農園の開設箇所数	5 箇所	6 箇所
農業従事者の平均所得額※ 1	△346,710 円	200,000 円
ふるさと納税の返礼品における農作物の売上高	262,301 千円	150,000 千円
ひとまるの里の売上高	228,169 千円	255,000 千円
有害鳥獣被害額	5,300 千円	5,200 千円
漁業従事者の平均漁獲高	102 トン	120 トン
漁業従事者の平均所得額※ 2	261 万円	250 万円
新規販路数（水産業）	0 件	2 件

※ 1 確定申告における「農業所得」がある方の農業所得額の平均

※ 2 確定申告における「漁業所得」がある方の漁業所得額の平均

### 関連個別計画

- 人農地プラン
- 新宮町離島漁業集落活動促進計画

- 地域計画

主要施策



## 商工業の振興

### 現 状

全国的には人口減少に伴う生産年齢人口の減少により、事業の維持及び拡大のための人材の確保が困難になっている状況にあります。

新宮町においても、事業承継が行われないなど、廃業する店舗や事業所が増加し空き店舗などが増えると、住民の生活の利便性が損なわれるなど、地域の活力の維持に大きな影響を与えます。

新宮町の商工業事業者の大半を占める小規模事業者が、しっかりとした商いができるように、商工会と連携しながら活気あるまちづくりを行っていく必要があります。

### 方 向 性

既存の中小企業や小規模事業者、新たに創業しようとする人が抱える課題を捉え、適切な対応ができるよう、町・商工会・金融機関・中小企業支援各種団体との連携・支援体制を強化します。

さらに、町全体が活性化できるように、商工会などと連携しながら、町内製品のPRや特産品の開発を進めるとともに、大型店舗と小規模商店との共存が可能となるような様々な仕組みづくりを検討し、実践していきます。

### 具 体 施 策

#### (1) 商工業の振興

- ① 個人商店から大規模小売店舗に至る、全ての町内事業所の活性化を図るため、商工会と連携した商業振興を実施します。
- ② 新宮ブランドのさらなる展開を図るため、商工会や新宮町おもてなし協会と連携し、町内製品のPRと新たな特産品の開発を推進します。
- ③ 事業者などに対し、国や県の各種補助・融資制度などについての情報提供を行うとともに、商工会と連携して小規模事業者や中小企業の経営安定化、経営基盤の改善を支援します。
- ④ 事業の引き継ぎを検討する小規模事業者や中小企業に対し、商工会・金融機関・事業承継支援機関などと連携し、事業承継を支援します。
- ⑤ 新規起業者を対象に、創業支援計画に基づいた創業支援を実施します。

#### (2) 企業誘致と就労・雇用の推進

- ① 立花口地区への新宮スマートインターチェンジ（仮称）事業の進捗に伴い、隣接地域への流通業務施設などの誘致を推進します。
- ② 国道・県道沿いなどの利便性が高い土地や新たに整備される市街地において、近隣住民の生活利便性が向上するような商業施設の誘致のための情報収集をします。

- ③ 三代地区において、災害時に防災活動拠点となる「新宮ふれあいの丘公園」と連携することを視野に入れた、商業施設や流通業務施設の誘致のための情報収集をします。

## 主要施策の指標

指標名	R 6 実績値	R 12 目標値
特産品開発件数（立花山・相島）（累積）	0 件	2 件
創業支援事業を受講した新規創業数（累積）	12 件	15 件
販路拡大に資する取組の件数（累積）	4 件	10 件

関連個別計画

● 創業支援等事業計画

● 事業継続力強化支援計画

主要施策

## 6 3 観光の振興

### 現 状

交流人口<sup>1</sup>の拡大を目指して、観光資源を有効に活用するとともに、商工会や新宮町おもてなし協会と連携しながら、様々な観光コンテンツの開発、新たな観光資源の発掘などに取り組む必要があります。観光コンテンツの開発にあたっては、近隣自治体を含む広域での魅力的な観光コースを検討することも必要です。

観光産業全体の活性化にあたっては、新宮町を訪れる価値のあるまちとしてPRすることに加え、観光客の滞在時間の延長や消費活動の促進のため、体験メニューの充実や交通事業者と連携した誘客活動など、関係機関と連携した総合的な観光振興施策を展開することが必要です。

### 方 向 性

様々な媒体を活用して新宮町の魅力を発信するとともに、まちを訪れた人が町内を周遊しやすい環境づくりを進めます。

また、新宮町の観光事業を牽引する新宮町おもてなし協会及び観光交流拠点施設管理者と連携して集客交流事業を展開し、併せて消費活動を喚起できるような仕組みづくりを推進します。

### 具 体 施 策

#### (1) 観光情報の発信と施設の充実

- ① 来訪者のニーズや目的にあった観光情報を適切に発信できるよう、ICTを活用した観光情報の発信を推進します。
- ② 町内への集客及び観光客の周遊を促進するため、テレビ・新聞・雑誌などのマスメディアや、SNSの積極的な活用によるPRを推進します。
- ③ 外国人観光客に向けた多言語案内を表記するなど、インバウンドを意識した観光基盤の整備に取り組みます。

#### (2) 連携による観光の推進

- ① 交流人口の増加を図るため、新宮町おもてなし協会や町内事業者との連携を強化し、観光アクションプランに基づく計画的な観光事業を推進します。
- ② 観光資源として活用できる農産物の利活用や、特産品の開発などを支援するとともに、販路拡大につなげるため、商工会や新宮町おもてなし協会などと連携したプロモーションを実施します。
- ③ 地域で自主的に活動する団体等と連携し、立花山や相島、新宮海岸などの地域資源を活用できる仕組みづくりを進めます。

<sup>1</sup> 交流人口：地域を訪れる人々のこと。

## 主要施策の指標

指標名	R 6 実績値	R12 目標値
立花山登山者数	30,152 人	31,000 人
古民家交流拠点来訪者数	4,812 人	6,300 人
島の駅あいのしま来訪者数	8,315 人	16,000 人
体験型イベント参加者数	1,179 人	800 人
体験型イベント実施事業所数	9 事業所	10 事業所
宿泊施設数	2 件	3 件
観光イベント広域連携数	6 件	6 件
多言語案内実施箇所数	7 箇所	4 箇所
シティプロモーション実施数（累積→件／年）	40 件	10 件

関連個別計画

- 新宮町観光アクションプラン

主要施策



## 地域振興の推進

### 現 状

新宮町の人口は、令和7（2025）年現在約33,000人となっており、町内における土地区画整理事業や建設中の集合住宅があるなど、短期的にはまだ人口が伸びる要因があります。しかし、中長期的には人口が減少に転じる可能性や特定の年代が集中して居住している地域の加速度的な高齢化なども懸念されます。町の東部地域や離島の相島では、既に農漁業従事者の後継者不足や少子高齢化に伴う人口の減少が進んでいます。

### 方 向 性

第3期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略人口ビジョンにおいて、将来人口33,000人を維持することを目標とし、新宮町にある地域資源を活用しながら、交流人口の拡大を図り、定住を促進していきます。

また、人口減少地域への個別の施策展開を図りながらも、新たな人の流れを作り、交流を生み出すことで、町の活力の維持・拡大を推進します。

### 具 体 施 策

#### （1）定住化及び空き家対策の推進

- ① 移住・定住の促進や、地域の交流拠点として空き家の活用を推進します。
- ② 相島への移住・定住を促進するため、空き家を活用した宿泊体験事業を検討し、継続的な実施を図ります。
- ③ 幅広い世代の移住・定住を促進するため、地域での移住者受け入れ環境の整備に加え、定住促進助成金・菜園付き住宅など地域の魅力を活かした定住特典の提供などを検討します。

#### （2）地域振興策の推進

- ① 新宮町離島振興計画に基づき、離島の社会的条件を克服し、人口減少防止に取り組みながら、地域との連携による離島振興を推進します。
- ② 地方創生を担う地域おこし協力隊の定住につながる環境整備を検討します。

## 主要施策の指標

指標名	R 6 実績値	R 12 目標値
相島への移住者数（累積）	3 人	5 人
空き家バンク新規登録件数（相島のみ）（累積）	5 件	5 件
空き家バンクマッチング件数（相島のみ）（累積）	5 件	5 件